

安生寺



ゆめ見^ミては
安^{あん}産^{さん}祈^き願^{がん}
安^{あん}生^{じょう}寺^じ

安生寺とは？

安生寺とは、奈良県五條市今井にあるお寺です。



← 本堂



聖武天皇との繋がり

昔、安生寺で文武天皇が**安産祈願**し、**聖武天皇**が生まれました。

このことから
読み札には
「安産祈願」
と書かれて
います。

国生さん(宇智神社)と国生寺(現・安生寺)

1300年以上前の飛鳥時代のこと。毎夜のまばゆい光に導かれた役行者(えんのぎょうじゃ)が、この地において老翁の姿をした国生(こくしょう)明神に会い、神託を授かりました。国を憂い、人々を想う、国生明神の強い意思を実現すべく役行者は、寺院の建立を決意し、観音菩薩像を自ら彫りあげました。国生寺の始まりです。

国生寺に隣接する宇智神社は、地元では『こくしょうさん』と呼ばれ、古くから親しまれています。創建年代は定かではありませんが、国生明神の拠り所としてのありようは、遙か昔なのでしょう。



あるとき、国生明神は美しい天女の姿で現れ、羽衣をまとい、6本の腕には色々なものを携え、7頭の子猪に乗っていたそうです。

また、あるとき、役行者に帰依した文武皇后が、男子を授かることを国生寺の観音菩薩に祈願し、見事第一皇子を授かり、安産にて誕生しました。文武天皇は大いに喜び、国生寺を安生寺と改名させたほどでした。

その皇子こそ、誰あろう、のちの聖武天皇です。聖武天皇は即位後、安生寺を天皇家の勅願寺とし、七堂伽藍を整備、柴山寺をも凌ぐ山容としました。今も残る三本線の筋堀は、皇室との深いつながりの証です。

©Ototamago

<http://www.anjo-ji.jp/>



安生寺と追儼

安生寺では昔「追儼」と言う節分の元になった儀式が行われていました。東小でも、自作のお面・武器を使い再現してみました。

ほかにも、安生寺には「追儼面」と言う5つの面が残っています。大きな目、舌を出しています。



追儺をしてみてください...



今も続いている
節分のもとになった、
行事が安生寺で行われて
いた事に驚きました！
これからも、この行事
を受け継いでほしいで
す。

作:N.A.